



ケータイ地域通貨ラブのご提案

～運用案2) 子育て応援と地域活性化～

子どもの自然体験遊びとフリマでの地域住民間交流イベント



地域商店の活性化～地域助け合い



ごあいさつ

【会社】合同会社システムGenKi / 任意団体「パパざかり(仮称)」

【代表】小谷雅彦 086-239-6377(090-9737-8341)

【社会的起業家】ビジネスとして事業性を確保しつつ社会的課題(商店街活性化、子育て、介護・福祉)を解決することを目指しています

【略歴】約17年間大手企業の受注開発に携わってきました

1991～1994年 DES暗号化ソフトの開発

1995～1997年 利用者管理システムの開発

1998～2005年 ASP型特許調査システムの開発

2006～2008年 携帯版教育関連システムの開発

2008年4月 合同会社システムGenKi設立

1. 背景

近年、核家族化や近所付き合いが希薄化していく中で地域住民間での助け合いの精神は薄れ、家庭の中だけの孤独な子育てや高齢者の生活不安が社会的課題となっています。

商業面では車社会の到来や大型店・量産店の全国展開により、かつて地域経済の中心であった商店街や地域商店が全国的に衰退しています。

こうした社会的課題を解決する起爆剤として、2002年頃から全国各地で積極的に地域通貨の導入が行われました。

一時的な盛り上がりは見られたものの、助成金の切れ目や支援大学の研究熱がさめるのと共に尻すぼみになり、徐々に廃止されているのが実情です。

2. 目的

地域通貨での地域経済の活性化や助け合いの促進は無理だったのでしょうか？ 先行事例を調査・分析した結果から以下の問題が見えてきました。

- ①地域通貨の事務局が資金面で自立運営できていない。
- ②地域通貨の流通量を継続的に拡大する改善・仕組みがない。
- ③システム化しているものは利用者が機能を使いこなせていない。
- ④利用者間での流通がほとんどない。

地域通貨ラブはこれらの問題を改善した「携帯電話を使った地域通貨システム」により、地域住民間の助け合いと地域経済の活性化を最終目的としています。

3. 全体像および範囲

【初期目標】子育て支援、住民間交流、地域商店集客

イカダ作り、イカダ遊び



釣り竿作り、魚釣り



フリーマーケット、野菜販売、セルフカフェ



撫川城跡公園



撫川公園

ロープ遊び



木工作、穴掘り、基地遊び



遊び場で教えてもらったパスワードをメールすると...



地域通貨

100ラブ

地域商業
活性化

4. 吉備・陵南地区の特徴と課題

1) 幅広い世代(子育て世代、高齢者)が共存している

- ・古代吉備国や陣内町(城下町)の古くからの住民、高度成長期の団地住民、新興住宅の住民が共存している。
- ・一方で**新旧住民間の交流が希薄化し地域ぐるみでの子育てや高齢者介護という助け合い精神は薄れている。**
- ・少子化の影響からまだまだ使える子育て用品が余っている家庭や、新興住宅の急増から子育て用品を必要としている世代も増えている。これらの余剰品を気軽に販売できる**フリーマーケットの開催場所への潜在ニーズ**も高い。

2) 豊かな自然と土地、兼業農家や本格的な家庭菜園も多い

- ・吉備の中山、足守川、田畑など豊かな自然に囲まれているが**自然の中でのびのびと遊ぶ子どもは減っている。**
- ・豊かな土地からの農作物が豊富。JA岡山吉備の朝市でも毎回開始10分程度で売り切れ状態になるなど安全な野菜へのニーズが高い。また本格的な家庭菜園愛好家も多く、家庭で消費しきれない**野菜を気軽に販売できる場への潜在的ニーズ**も高い。

3) 都市計画「庭瀬歴史の原風景創生地区」として整備

- ・岡山市都市計画により、江戸時代に栄えた撫川城跡・庭瀬城跡を中心とした城跡公園整備、堀・水郷整備、歴史的町並みの整備、アクセス道路整備が実施された。
- ・撫川城跡・庭瀬城跡周辺の庭瀬往来には**歴史的景観を保った商店が一部残ってはいるものの商店は減少し商業エリアとしての魅力は低い。**



5. 課題解決に向けたアプローチ

1) 地域交流イベントを定期開催

自然を活かした遊び場と子ども用品や野菜のフリーマーケットを併設したイベントを定期開催することで地域交流の場を作ります。



2) 地域のニーズを繋ぐ地域通貨で地域発展と助け合い

イベントの参加者にケータイ地域通貨ラブを配布し周辺の協賛店へ集客します。
また助け合い掲示板により地域通貨ラブを配布し地域住民間の助け合い活動を促進します。



6. なぜケータイなのか？

1) 母親の普及率・メール利用率が高く、**操作に慣れている**
幼稚園・小学生の母親の携帯普及率は、ほぼ10割
8割以上がメールをよく利用する

2) 広告スポンサーが豊富
ネット検索のGoogleやネット通販のAmazonなどの広告掲載契約が簡単にできるため、紙幣やICカードと違い、**広告収入が得やすい**。

3) **導入費用がかからない**
紙幣の印刷費用やICカード・リーダーの設備費用がかからない。

4) **利用状況进行分析できる**ためビジネスモデルを改善できる
いつ配布した地域通貨がどこで利用されたかというデータを事務局が集計・分析できるため、利用率や普及率を上げるための改善がやりやすい。

7. 運用イメージ



※点線は将来拡張予定

イラスト わたなべふみ

8. ケータイ地域通貨ラブの特徴

①必要なものは利用者の携帯電話だけ

- 専用紙幣やカード発行は不要、利用者の持ち歩き忘れもない
- 協賛店はラブパスワード一覧(紙)を事務局に貰うだけ

②簡単操作

- ひらがな4文字のメール送信だけで誰でも使える

③低コスト導入と利用者拡大の仕組み

- イベント参加:無料、協賛店:利用料月5,000円、イベント出店料:1,000円
- 協賛店や出店者はラブ利用者を増やすと宣伝報酬を得られるため宣伝努力次第で無料利用も可能

④協賛店にはホームページやダイレクトメールサービスを提供

- 協賛店はラブ利用者向けに、協賛店ごとのホームページとダイレクトメール発信ができる

⑤利用者間でのラブ受け渡しが可能

- ひらがな+数字のメール送信だけでラブの受け渡しが可能
- ケータイ上の助け合い掲示板・フリーマーケットも随時準備予定

⑥流通量に比例する外部資金調達(Google広告料など)

- ラブの受け渡しメール、協賛店検索・紹介画面、イベント予定表に子育てグッズや協賛店の業種に合ったネット広告を表示し、地域外からも運用資金を調達する

9. ケータイ地域通貨ラブの機能概要

【機能概要】

- ①面倒な入会やログイン操作は不要
- ②ケータイメールでラブパスワードを送信するとラブが貰える
- ③協賛店が簡単操作で検索、閲覧できる
- ③ワンクリックで協賛店の割引きクーポン発行
- ④自然遊びやフリマのイベントの予定表メールが届く
- ⑤ケータイメールで利用者間でのラブ受け渡しができる

